

一級自動車工学科・自動車整備科		2023年度		授業計画		
時期	2年D巡	単元	実習	教科名	T/S 3級対応	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	サービスメニューカタログ	発行日	2023年4月1日	
			バイダー			
総時限	12時限		レポート用紙	教科担当	橋本	●■
			N I Mテキスト		馬場	●■
1. 実務経験のある教員による授業科目 該当						
自動車販売会社でお客様対応、点検整備記録簿の記入について自動車整備士として実務経験のある教員にて、お客様対応でのポイントや各システム商品の内容、記録簿の記入方法について指導する。						
2. 教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)						
TS3級 お客様対応実技試験 2年間のお客様対応授業に対する卒業(進級)試験 日産ディーラー車検、グッドプラス保証、システム商品等の商品知識を身に付け説明、提案、商談が出来る様になる N I M (ニッサンインテリジェントモビリティについて学ぶ) 問診の課題を実施する						
3. 授業の到達目標 (何を理解し何が出来るようになるのか)						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 入学から2年間、さまざまな形で対応を学び今回の試験はその集大成となる。 2. 整備科の学生は最終仕上げ、工学科については残りの学年での言葉づかいや所作等の見直しとなる。 3. 今、販売会社で取り組んでいるTSによる整備結果説明の狙いを理解させて、CS向上の一端を担う事を理解させる。 4. 車種によって、装備品の違いによる記録簿の記入方法を学ぶ。 5. 商品知識を身に付け、お客様へカーライフに沿った提案が出来るようになる。 6. N I M (ニッサンインテリジェントモビリティ) について概要を学ぶ 7. 愛車カルテの紹介及び使用方法を学ぶ。 8. 実際の業務において、戸惑う事が無きようにしておく。 9. 問診課題の実施と提出 						
4. 学習評価 (期末試験での主な試験項目)						
<p>・実習履修試験での得点評価 ※本実習は技能要件項目に該当し80点以上で認定となる。</p> <p>合格基準：整備科60点以上で合格、工学科70点以上で合格</p> <p>評価の種類：『優』・『良』・『可』(履修)、『未』(未履修)の4段階で評価</p> <p>評価基準：80点以上…『優』、整備科60点以上、工学科は70点以上…『良』</p> <p>整備科60点未満、工学科70点未満…『未』(未履修)</p> <p>再試験・判定試験で合格した場合は得点に関係なく…『可』</p> <p><出題試験項目></p> <p>① ロープレ試験実施</p>						
5. 準備学習						
T S 3級お客様対応テキスト、サービスメニューカタログの読み込み。						
※■⇒日産資格保持者 ※●⇒実務経験がある教員						

